

韓国駐在員報告

駐在員：外山 靖

政治

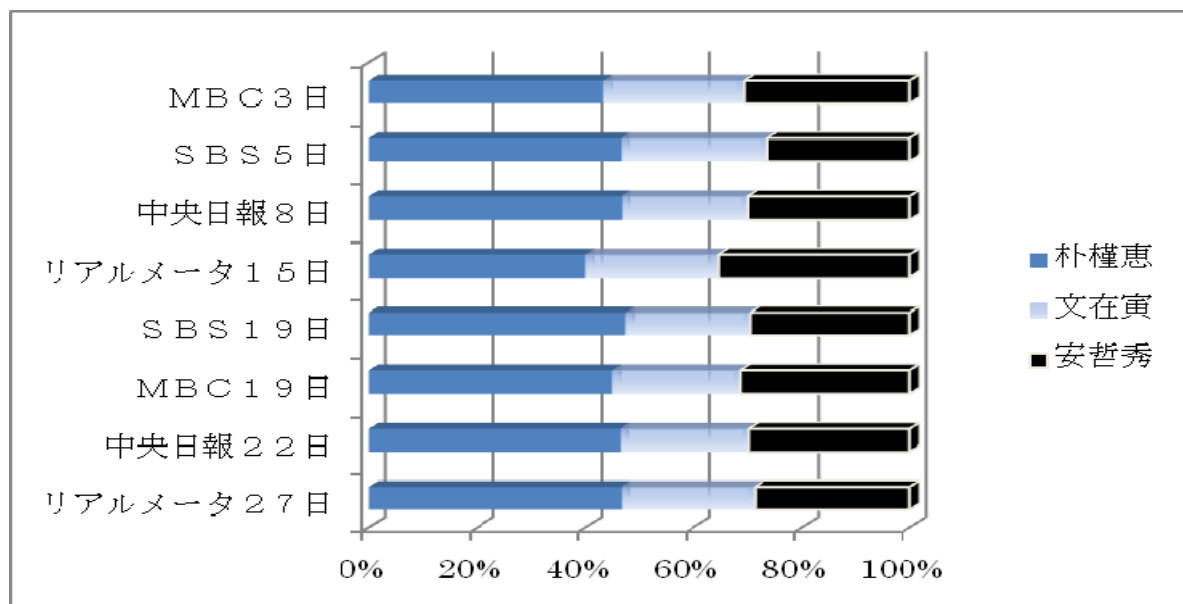
・韓国大統領選挙の動向

12月19日に投開票が予定される韓国大統領選挙について、支持率、主要な争点等について現地における動向をまとめた。

<有力3候補の支持率>

- ・与党セヌリ党の朴槿恵（パク・クネ）候補が4割前後の支持率を維持し、首位を走っているものの、支持率に大きな動きがなく、むしろ頭打ちとの評価もある。
- ・無所属での立候補を表明している安哲秀（アン・チョルス）候補は3割程度の支持率を維持している。
- ・最大野党民主統合党の文在寅（ムン・ジェイン）候補も2割程度の支持率を獲得し、安候補を追い上げている。

○有力3候補の2012年10月の支持率の動向



（リアルメータは世論調査機関、その他は韓国報道機関）

<野党候補一本化>

- ・11月に入って文候補は安候補に政策連携を提案し、11月25日から26日に予定される候補者登録の前に候補を一本化することで合意した。
- ・今後どちらに一本化するか協議が進められることとなる。

< 主要な争点①経済政策 >

| | |
|-----|---|
| 朴槿恵 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ソフトウェア産業育成を根幹とした経済創造、雇用創出 ・ 高付加価値先端技術と伝統産業の融合で新しい成長動力を創造 ・ 10兆ウォン規模の財政投入で景気浮揚 ・ 農漁村の活性化 |
| 文在寅 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業の育成 ・ 雇用創造を通じた成長 ・ 包容的・創造的・生態的・協力的成長（経済成長4大戦略） ・ 積極的な福祉支出による経済成長 |
| 安哲秀 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉向上と経済成長を同時に達成する循環の確立 ・ 中小企業に合わせた成長 ・ IT企業を中心とした革新経済 ・ ベンチャー企業発展による国家経済ポートフォリオの完成 |

< 主要な争点②エネルギー政策 >

| | |
|-----|--|
| 朴槿恵 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子力発電所の追加建設は「条件付き反対」 ・ 新たな原発追加は慎重でなければならない。 |
| 文在寅 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「脱原発」で共通 ・ 再生可能エネルギーと需要管理で対応 |
| 安哲秀 | |

< 主要な争点③福祉政策 >

| | |
|-----|--|
| 朴槿恵 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 所得保障と福祉サービスを公平に提供できる社会網の構築 ・ 生涯福祉実現に向け需要者中心体系を見直し、政策調整機能を強化して福祉の死角を発見しより多くの国民に福祉を体感 |
| 文在寅 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 生計維持可能な家計所得の保障 ・ 教育、医療、住居等主要国民支出を国家責任で減額 ・ 女性キャリア支援、性差別の残る制度・文化を変革 |
| 安哲秀 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活水準を保障し福祉体系を確立 ・ 保育、住居、健康、老後の心配がない共同体の構築 ・ 働きたい人すべてが働ける経済の実現 |

・ 福祉拡大公約実現のためには、毎年15兆ウォンの財源が不足するとの試算があるが、候補者から明確な財源対策は示されていない。

< 主要な争点④外交安全保障 >

・ 3候補の外交安全保障公約は、中道寄りで共通する部分が多い。

| | 朴槿恵 | 文在寅 | 安哲秀 |
|------|--------------------|-------------------|------------|
| 韓日関係 | 領土主権守護 歴史問題積極対応 | 歴史問題・独島・教科書問題断固対処 | 韓日軍事情報協定重視 |

< 海外国民の有権者登録 >

・ 海外の韓国民は、今年の総選挙から居住地で投票が可能となった。韓国中央選挙管理委員会によると、10月22日現在の海外国民有権者登録は223,557人である。有資格者は世界107か国・地域に2,233,695人であり、このうち10%が登録したことになる。

・ 静岡県在住の在日韓国人等は横浜総領事館で選挙人登録し、投票が可能。11月5日現在の登録者数は295人である。